

## 津波浸水シミュレーションについて

この度公表した津波浸水シミュレーションは、海岸堤防等の計画や市町村のまちづくりの参考とするために実施したもので、海岸堤防等の復旧・整備が完了後に最大クラスの津波が来襲した場合に想定される浸水範囲及び最大の浸水深を示したものです。

主な計算条件を以下に示します。

・潮位

①遡望平均満潮位によるシミュレーション

復旧・整備した海岸堤防等による最大クラスの津波への効果を確認する。

(②よりも厳しい条件)

②東日本大震災発生時の潮位によるシミュレーション

最大クラスの津波が東日本大震災津波の場合に、必要に応じてシミュレーションを実施する。

・地盤高

東日本大震災津波による沈下を考慮し、さらに、最大クラスの津波を発生させる地震による地盤変位を考慮して、シミュレーションを行っている。

・まちづくりにおける盛土等

考慮しない。

・海岸堤防等の構造

最大クラスの津波による越流に対して決して壊れない構造ではないが、当シミュレーションでは、越流した場合でも壊れないという条件で計算を行っている。

なお、「津波防災地域づくりに関する法律」に規定されている、津波警戒避難体制等の基本となる「津波浸水想定」については、海岸堤防等の破壊を考慮するなど最悪の状況下でのシミュレーションを実施する。

担当：河川課河川海岸担当 冬川、馬場（019-629-5901）